JIS

集じん用ろ布の試験方法－ろ布耐久性測定用のサンプリング方法及び試験方法

JIS Z 8910 : 2025

(ISO 22031 : 2021)

(APPIE/JSA)

令 和 7 年 2 月 20 日 改 正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

日本産業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	松 橋 隆 治	東京大学
(委員)	安 部 泉	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	江 坂 行 弘	一般社団法人日本自動車工業会
	大 瀧 雅 寛	お茶の水女子大学
	片 山 英 樹	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	倉 片 憲 治	早稲田大学
	越 川 哲 哉	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	是 永 敦	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	椎 名 武 夫	千葉大学
	寺 家 克 昌	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	清 水 孝太郎	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
	清 家 剛	東京大学
	高 津 章 子	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	高 辻 利 之	一般社団法人日本計量機器工業連合会
	田 辺 新 一	早稲田大学
	田 淵 一 浩	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	水 流 聡 子	東京大学
	中 川 梓	一般財団法人日本規格協会
	久 田 真	東北大学
	廣 瀬 道 雄	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	星 川 安 之	公益財団法人共用品推進機構
	細 谷 恵	主婦連合会
	村 垣 善 浩	神戸大学
	山 内 正 剛	国立大学法人信州大学
	山 田 陽 滋	豊田工業高等専門学校

主 務 大 臣：経済産業大臣　　制定：平成 19.2.20　　改正：令和 7.2.20
官 報 掲 載 日：令和 7.2.20
原 案 作 成 者：一般社団法人日本粉体工業技術協会
（〒113-0033　東京都文京区本郷 2-26-11 種苗会館ビル　TEL 03-3815-3955）
一般財団法人日本規格協会
（〒108-0073　東京都港区三田 3-11-28 三田 Avanti　TEL 050-1742-6017）
審 議 部 会：日本産業標準調査会　標準第一部会（部会長　松橋　隆治）

この規格についての意見又は質問は，上記原案作成者又は経済産業省イノベーション・環境局 国際標準課（〒100-8901　東京都千代田区霞が関 1-3-1）にご連絡ください。

なお，日本産業規格は，産業標準化法の規定によって，少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され，速やかに，確認，改正又は廃止されます。

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

目　次

ページ

序文 1
1　適用範囲 1
2　引用規格 1
3　用語及び定義 2
4　代表的なろ布のサンプリング 3
4.1　一般 3
4.2　サンプリングする装置内のブロックの選定 3
4.3　サンプリング手順 5
5　サンプリングしたろ布の試験方法 6
5.1　一般 6
5.2　外観検査 7
5.3　写真撮影 7
5.4　試験片の切出し 7
5.5　試験 7
5.6　試験後の試料ろ布の取扱い 8
6　取扱い上の注意事項 9
7　試験報告書 10
附属書 A（参考）FTA 解析（FTA: Fault Tree Analysis，故障の木解析）によるろ材の破損分析 11
附属書 B（参考）試験報告書の例 13
附属書 C（参考）試験結果の例 17
参考文献 21
解　説 22

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

まえがき

この規格は，産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき，一般社団法人日本粉体工業技術協会（APPIE）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から，産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり，日本産業標準調査会の審議を経て，経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって，**JIS Z 8910**:2007 は改正され，この規格に置き換えられた。

この規格は，著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が，特許権，出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は，このような特許権，出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について，責任はもたない。

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

日本産業規格　　　　　　　　　　JIS
Z 8910：2025
(ISO 22031：2021)

集じん用ろ布の試験方法－ろ布耐久性測定用のサンプリング方法及び試験方法

Sampling and test method for cleanable filter media taken from filters of systems in operation

序文

この規格は，2021 年に第 1 版として発行された **ISO 22031** を基に，技術的内容及び構成を変更することなく作成した日本産業規格である。

なお，この規格で点線の下線を施してある参考事項は，対応国際規格にはない事項である。

1　適用範囲

この規格は，稼働中のバグフィルタ集じん装置の，不織布製ろ布の劣化・損傷状況を評価するために，バグフィルタ集じん装置からろ布をサンプリングする方法及び試験方法について規定する。

この規格は，バグフィルタ集じん装置から，使用中のろ布をサンプリングする方法，採取したろ布から測定用の試験片を作製するために，ろ布上に残留する粉じんを除去する方法，及び作製した試験片に対する測定パラメータについて規定している。装置からサンプリングするろ布（フィルタエレメント）本数，その装置内での位置，測定用試料のろ布内での切出し位置及び大きさ，並びに測定項目及び方法について規定している。

また，この規格は，試験を実施する作業者及び測定者の健康保護のため，サンプリングしたろ材の保管方法及び輸送方法についても規定している。

注記　この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を，次に示す。

ISO 22031:2021，Sampling and test method for cleanable filter media taken from filters of systems in operation（IDT）

なお，対応の程度を表す記号“IDT”は，**ISO/IEC Guide 21-1** に基づき，“一致している”ことを示す。

2　引用規格

次に掲げる引用規格は，この規格に引用されることによって，その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格のうち，西暦年を付記してあるものは，記載の年の版を適用し，その後の改正版（追補を含む。）は適用しない。西暦年の付記がない引用規格は，その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS L 1096　織物及び編物の生地試験方法

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。